

教科目名 公園緑地計画 (Instrumentation Engineering)

学科名・学年 : 土木工学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 幡東孝則

授業の概要			
公園緑地の種類や必要性及び公園緑地計画における現状や問題点について学習し、それらの知識を活用した緑地計画の演習を行い、計画の基本的な方針や計画手法の習得を目標とする。演習はワークショップタイプで進め、グループごとに発表を行う。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (B2)
(1) 緑地の効用を理解する。(定期試験) (2) 緑地の種類を理解する。(定期試験) (3) 緑地計画の手法理解をする。(演習)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	1. 緑の効用について 緑地の意義について 2. 緑地の種類 3. 緑化の目的 4. 演習(1) 演習(1) 5. 緑地計画 1) 計画の基本方針	何故、緑地が必要なのか考える。 緑地の意義を機能毎に分類し理解する。 公園緑地の機能と種類について理解する。 緑化の目的と種類について理解する。 緑化手法の確認(道路の緑化)。身近な緑の確認とその目的確認。 計画の拠所となる基本方針の設定方法を理解する。 動線計画の種類・手法について理解する。	【理解の度合い】
8 9 10 11 12 13 14	2) 動線計画 3) ゾーン計画 6. 演習(2) 演習(2) 演習(3) 演習(3) 演習(3)	ゾーン計画の考え方について理解する。 個人住宅を利用した計画演習。 グループ発表と解説。 公園緑地の計画演習。 グループ発表と解説。	
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	演習(作図)を行う授業であることを理解しておくこと。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	北村 信正、「計画と設計の実際」、技報堂。 国土交通省監修、「都市公園技術標準解説書」、日本公園緑地協会。		
関連科目	建築学概論		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について、定期試験と演習(課題)で評価する。 定期試験の成績(80%)および課題の提出(20%)により評価し、総合評価とする。 総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点